

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年 6月 30日

静岡県知事 鈴木 康友 殿

提出者

住所 浜松市中央区布橋2-6-1

氏名 須山建設(株) 取締役社長 須山雄造

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

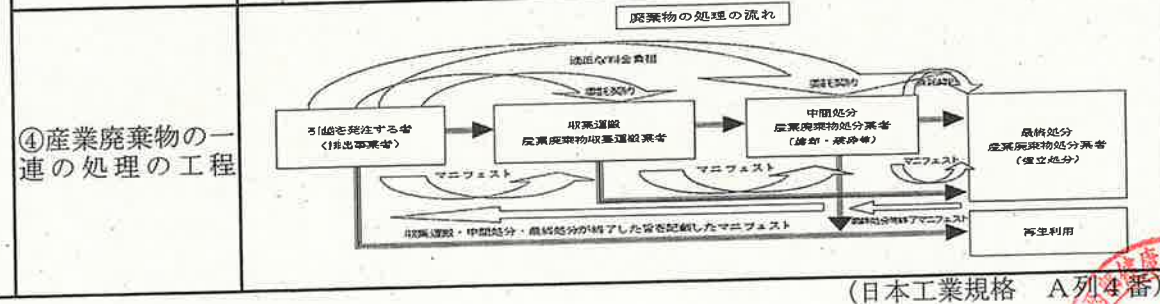
電話番号 053-471-0321

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	静岡県内の各現場(浜松市及び静岡市を除く)
事業場の所在地	静岡県内の各現場(浜松市及び静岡市を除く)
計画期間	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	完成工事高 192億
③ 従業員数	217名

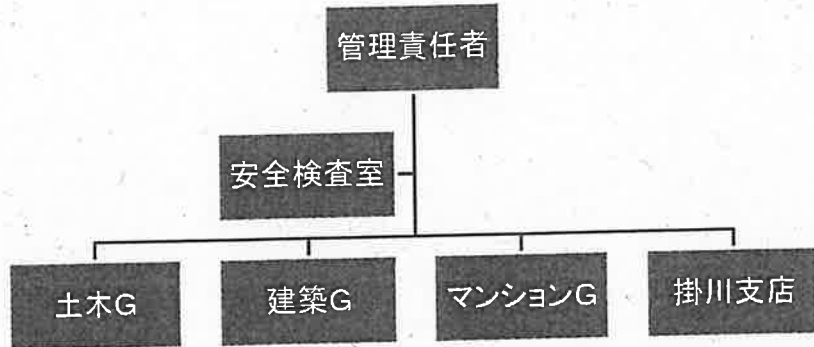


(日本工業規格 A列4番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状 (前年度実績)	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙①の通り	
	排出量	別紙①の通り	t
	(これまでに実施した取組) ①産業廃棄物の分別 ②現場での余剰材の低減 ③現場での切断の削減		
②計画 (今年度計画)	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙①の通り	
	排出量	別紙①の通り	t
	(今後実施する予定の取組) ①産業廃棄物の分別の促進 ②計画的に材料等の納入 ③工場加工の促進		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状 (前年度実績)	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①混合廃棄物の発生量を減らすようにゴミコンテナを計画的に設置
②計画 (今年度計画)	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①混合廃棄物を出来る限り分別する

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状 (前年度実績)	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) ・これまでに自ら産業廃棄物の再生利用を行ったことはない。		
②計画 (今年度計画)	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・引き続き自ら産業廃棄物の再生利用を行う予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状 (前年度実績)	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
(これまでに実施した取組) ・これまでに自ら産業廃棄物の熱回収及び中間処理を行ったことはない。			
②計画 (今年度計画)	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
(今後実施する予定の取組) ・引き続き自ら産業廃棄物の熱回収及び中間処理を行う予定はない。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状 (前年度実績)	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) ・これまでに自ら埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。		
②計画 (今年度計画)	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・引き続き自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う予定はない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状 (前年度実績)	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙②の通り	
	全処理委託量	別紙②の通り	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙②の通り	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙②の通り	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) ①産業廃棄物の適正処理の促進 ②電子マニフェストの利用促進(現状93%) ③分別処理の促進 ④産業廃棄物の発生量の低減		

②計画 (今年度計画)	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙②の通り	
	全処理委託量	別紙②の通り	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙②の通り	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙②の通り	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	①今後実施する予定の取組 ②産業廃棄物の適正処理の促進（毎月、処理処理状況を確認する） ③電子マニフェストの利用促進（100%を目指す） ④分別処理の促進（ゴミコンテナの種類を増やす） ⑤産業廃棄物の発生量の低減（低減率を現場ごとに決める）		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙①

【 前年度(令和5年度)実績 】

種類	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
	汚泥	廃プラスチック	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物	特定有害産業廃棄物	
排出量(T)	785.620	33.695	455.295	4.746	108.780	4311.896	129.246	4.420	70.460	19.908	0.090	0.780	5.925

① 前年度実績

【 目標 】

種類	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
	汚泥	廃プラスチック	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物	特定有害産業廃棄物	
排出量(T)	746.339	32.010	432.530	4.509	103.341	4096.301	122.784	4.199	66.937	18.913	0.086	0.741	5,629

① 今年度計画

別紙②

【前年度(令和5年度)実績】

種類	前年度実績												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
	汚泥	廃プラスチック	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物	特定有害産業廃棄物	合計
全処理委託量(T)	785.620	33.695	455.295	4.746	108.780	4311.896	129.246	4.420	70.460	19.908	0.090	0.780	5,925
再生利用者への処理委託量		33.695	455.295	4.746	108.780	4311.896	129.246	4.420	70.460		0.090		5,119
優良認定処理業者への処理委託量	3.400	19.170	24.695	0.791	93.630	866.316	61.516		49.608	4.220	0.090	0.780	1,124

【目標】

①今年度計画

種類	今年度計画												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
	汚泥	廃プラスチック	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	建設混合廃棄物	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	水銀使用製品産業廃棄物	特定有害産業廃棄物	合計
全処理委託量(T)	746.339	32.010	432.530	4.509	103.341	4096.301	122.784	4.199	66.937	18.913	0.086	0.741	5,629
再生利用者への処理委託量		32.010	432.530	4.509	103.341	4096.301	122.784	4.199	66.937		0.086		4,863
優良認定処理業者への処理委託量	3.570	20.129	25.930	0.831	98.312	909.632	64.592		52.088	4.431	0.095	0.819	1,180